

看護職員への負担軽減及び処遇改善に資する計画 2026年度

項目	現状・課題	目標	具体的な計画及び取り組み	達成年次	
負担軽減	業務軽減	<p>病状ごとの医師の指示がバラバラ</p> <p>それぞれエアーマットレス使用方法を全員が把握し</p> <p>看護助手の離職が多い</p>	<p>病状ごとの指示の標準化</p> <p>エアマットの適正な使用（特に新人教育）</p> <p>看護助手の離職を防止し、看護師業務に専念できる</p>	<p>インスリン注射などの指示は標準化にする</p> <p>新人を対象にエアーマットレス使用方法の研修を実施し、患者にあった使用することで、褥瘡発生率低下させ、褥瘡ケア時間を短縮する</p> <p>看護助手不足のため、看護師が看護助手の代わりに夜勤を施行。夜間オムツ交換回数を減らし、患者の安眠を促すとともに夜勤職員の業務軽減を図る。助手の離職を防止し、看護師が看護助手の代わりに夜勤をしなくても良いようにする</p>	<p>2026年末</p> <p>2026年度末</p> <p>2027年度末</p>
	定着率向上	<p>・病棟によって未申請の超過勤務時間が多い</p> <p>・離職率が高い 看護課全体20.8%（前年比▲0.4%）</p> <p>・2階看護職員 24.2%(2025年度) 前年比▲5.9%</p> <p>・3階看護職員 27.3%（2025年度） 前年比+3.1%</p> <p>・4階看護職員 11.8%（2025年度） 前年比+2.7%</p>	<p>・未申請の超過勤務が短縮する</p> <p>・離職率18%以下</p>	<p>【労働環境の改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シフトの柔軟化 希望休の反映率向上 夜勤回数の調整、短時間勤務制度 ・業務負担の軽減 看護補助者の活用（タスクシフト） ICT導入（電子カルテ） ・休暇の取りやすさ 有給消化率の可視化 連休取得の推進 <p>【人間関係・職場風土の改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハラスメント対策の徹底 相談窓口の設置 心理的安全性の確保 ミスを責めない文化 定期的な1on1面談 	2027年度末
	賃上げ	<p>ベースアップ評価料算定し、賃上げを実施。令和6年度3月の給与体系より+2.3%実現</p>	<p>継続的賃上げを実施し、さらに看護職員、コメディカル等に+3.2%、看護助手、事務職員に+5.7%を目標とする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な賃上げ（2.3%）については、法人負担により維持していく。 ・入院患者を積極的に受け入れ、保険収入を増加させることで、より上位のベースアップ評価料を算定し、その全額を職員に配分する。 	2026年度末